

# 2013 国際教養科 NEWS 9月

## 中国の高校から劉君が本校に留学(9/2～来年7月下旬)

国際交流基金・日中交流センターが実施する「心連心：中国高校生長期招へい事業」により、中国全土から30名の高校生が来日し、北は北海道から南は沖縄までの日本各地の高校で、9月から来年の7月下旬までの約11ヶ月間 留学生として学ぶことになりました。

本校では、遼寧省の東北育才学校から来た劉 牧言君を受け入れることになりました。劉君は日本語学習歴が4年でありながら、既に日本語検定1級の資格を持っているとのことで、本当に驚きです。日本語を流暢に話し、とても素直で明るく、好感の持てる生徒で、将来は、中国の高校を卒業し、日本の大学(東大)へ進学したいという大きな夢を持っているようです。中国の親元を離れ、日本の高校で学ぶことを決意し、はるばるやってきた彼の大きな勇気と夢は、本校の生徒たちにもきっと大きな感動と刺激を与えることと思います。これからの彼の成長が楽しみです。



8/30(金)に東京の新宿にある国際交流基金で来日歓迎レセプションがあり、中国から来た30人の留学生が一人ひとり挨拶をしましたが、どの生徒も高校で日本語を学習していて、とても上手に日本語を話していました。この場には、中国大使館の方や日本の外務省の方も参加し、とても和やかな雰囲気の中で、「お互いにぜひともこの事業は成功させよう」と共に強調してスピーチをしている姿が印象に残りました。留学生の彼らは、きっといつか日本と中国を結ぶ架け橋となるだろうと確信しました。

そして、9/2(月)が本校に初登校。当日は、NHK(全国放送)の取材も入り、劉君も緊張していましたが、所属する1年7組(国際教養科1年)のクラスにとても温かく迎えてもらい、すぐにクラスに溶け込んでいました。さらに2日後の校内の体育祭では、バスケットボール競技に参加し、ゴールを決めて、クラスの皆から大きな声援を受けていました。NHKでは、9/11(水)朝の「おはよう日本」と夜のBS-1 ワールド WAVE トゥナイトで「日中民間交流の今」に焦点を当てて、放送されました。





- ・各施設の説明をもう少し丁寧にしてほしい。
- ・講座の中に講師の出身国の話などもっと取り入れてほしい。
- ・来年度も実施してほしい。

